

令和2年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要  
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 令和2年10月8日(木) 14:20 ~ 15:10

2 開催場所 柳川庁舎 2階 大会議室

3 対象施設 青森市月見野森林公園

4 出席者

- (1) 選定評価委員会
- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 委員長  | 小野 正貴 (企画部次長)         |
| 副委員長 | 大久保 文人 (総務部次長)        |
| 委員   | 岩船 彰 (青森中央学院大学教授)     |
| 委員   | 西村 晴夫 (東北税理士会青森支部税理士) |
| 委員   | 川村 敬貴 (環境部次長)         |
| 委員   | 福井 直文 (福祉部次長)         |
| 委員   | 小笠原 聡 (浪岡事務所次長)       |
- (2) 施設所管課 (農地林務課)
- |    |       |
|----|-------|
| 課長 | 今野 恭男 |
| 主幹 | 田中 広信 |
| 主査 | 木村 恵巨 |
- (3) 制度所管課 (財政課)
- |     |       |
|-----|-------|
| 副参事 | 鈴木 健司 |
| 主幹  | 熊谷 圭介 |
| 主査  | 吉田 敏和 |
| 主事  | 前田 泰仁 |

5 案件 指定管理者候補者の選定について

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 森林組合あおもり
- ・住所 青森市大字高田字日野26番地2
- ・代表者 代表理事組合長 高坂 繁光

(2) 指定期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・最低得点（81.0点）を上回る点数（105.24点）を獲得していること。
- ・「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数の合計（66点）以上の点数（79.87点）を獲得していること。

## 7 主な質疑内容

### 【福祉に関する取組】

（委員）

森林公園内を巡回している際に障がい者マークのある駐車場を一般の方が駐車している場合は注意しているか。

（応募者）

森林組合の駐車場はキャンプ場から離れたところにある。キャンプ場付近の障がい者の方が利用する駐車場は、通常ロープを張っており一般車両は入れないようにしている。

### 【地元雇用への配慮】

（委員）

現在雇用している3名は青森市在住のかたか。また近隣市町村のかたの雇用も考えているとあるが、具体的に予定はあるか。

（応募者）

3名とも青森市内在住である。以前、緑の雇用制度を卒業したかたを公園管理人として雇用しており、平内町のかたであった。今後も青森市外のかたの雇用も想定している。

### 【その他】

（委員）

一人キャンプが話題となっているが、キャンプ場の今年の利用者はどうなっているか。

（応募者）

今年に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、県外からの利用者は減っている。緊急事態宣言解除後は、青森市内の利用者が増えており、キャンプをするかたは増えていると思う。

### 【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

（委員）

新型コロナウイルスとウィズコロナとして今後も向き合っていくことになるが、新型コロナウイルスの予防対策、コロナウイルス対策に関する経費試算は考えているか。

（応募者）

コロナ対策として、駐車場スペースを制限しているほか、キャンプ場利用者に対して、密にならないようお願いをしている。またキャンプ場にあるログハウスには消毒液を置かせていただいている。今後も同様の対応を行っていく予定である。

**【サービスの向上の対策】**

(委員)

キャンプ場の利用者が、ピーク時には平成8年度には18,708人となっており、昨年度は7,134人と半分以上減っている。キャンプ流行りで利用増は見込めると思うが、利用率の向上に向けて何か考えているか。

(応募者)

春に関しては山野草、夏であれば緑の木々を散策する、秋であればキノコの鑑定会など自然を楽しむ行事を考えていきたいと思っている。

**【その他】**

(委員)

森林公園の利用者が半減以上をなっているが、原因はなんだと思うか。

(施設所管課)

今年は、新型コロナウイルス感染症のため利用者が減少している。原因の一つとしては、人口減少や屋内遊戯施設の充実など社会的要因があると考えている。